



こんな大人に
ならないで

フツウの大人になりたい
あなたに贈る

小本祠小梨

ちょっとした算数

この問題を解いてみてください。

問1

●A子さんは、1つ398円のシャンプー（詰め替え用）を買わずに、同商品のシャンプーボトルとコンディショナーボトルのセットを398円で買い、コンディショナーは全く使わずに捨てました。さて、いくら無駄になったでしょう。

補足：A子さんがこのコンディショナーを使わない理由は、以前使ってみて、気に入らなかったから。

問2

●A子さんは、1パック200ml入り99円の野菜ジュースを、2つ買う代わりに、同商品の900ml入りボトルを198円で買い、結局、飲みきれずに500mlを捨てました。さて、いくら無駄になったでしょう。

補足：ボトル入りの野菜ジュースは、衛生的に、開封後3～4日で飲みきるのが良い。ところが、A子さんは3～4日で飲みきる（使用する）工夫をせず、捨てることを選んだ。

☆答え☆

問1：無駄になったのは、199円。

問2：無駄になったのは、110円。

☆解説☆

問1、問2ともに、出費は398円、198円と同じですが、実際に利用できた価値が違います。

問1では、398円でシャンプーを買ったとしても100%利用すれば、398円分を無駄なく使いきれたと言えます。

しかし、使わないと分かっているコンディショナーをセットで買ったことで、シャンプーの価値は199円分となり、コンディショナーを捨てることで199円分を捨てたこととなります。

資源・環境面で言えば、ただ捨てることも問題なのに、A子さんは詰め替え用を買わなかったという点も、問題になりそうです。

問2では、900mlのうち、飲んだ400mlの価値が88円分。

捨てた110円分は、200mlのパック99円との差額が小さいので、大した損ではないように見えますが、重要なのは、補足の方です。

200mlのパックジュースは、常温保存ができ、飲みたいときまで放置できます。

一方、ボトルジュースは、開封後、飲みたいなくなっても、飲まなければなりません。

A子さんは、「どんなときに飲みたいか」、「何人で飲みたいか」を考慮して、商品サイズを選ぶべきでした。

また、飲みきる（使用する）工夫とは、料理に使うなどの手段があるという意味です。

野菜ジュースの場合、スープ類を作る際に加えてしまえば、温かくおいしくいただけます。栄養面にもプラスです。

「飲みきれない分は料理に使う」と考えて購入していれば、110円分を捨てることなく、198円分すべて利用できたでしょう。

はい。実は、算数ではなくて、家庭科の問題でした。

ちなみに、実話を元にした例題です。

実話を元にしたら、野菜ジュースは198円じゃなくて298円くらいになりますが、計算しやすく設定しました。

なぜ、「こんな大人にならないで」と言うのか。

それは、A子さんが家計を意識していない人だからです。

お財布から、いくら出ていくかだけを気にして、買ったものを無駄にしないという意識に欠けているからです。

家計を意識しない人間は、男女問わず存在します。

子ども時代や単身時代は、こんな消費生活でも誰からも文句を言われなくてもいいかもしれませんが、いざ他人と暮らすことになったとき、物を無駄にする人間は必ず嫌われます。

例えば、収入の多い人は頓着しないかもしれませんが、収入が少ない場合、物を無駄にする人間と一緒に暮らそう（結婚しよう）という人はきっといません。

また、子どもがいる場合、子どもが学校で【自然環境の保護】の分野を学んできたなら、物を無駄にする親は軽蔑されます。

大人になるため、親になるため、家計を意識することはとても大切なことですよ。

こんな大人にならないで

<http://p.booklog.jp/book/94543>

著者：小本祠小梨

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/shiorisparty/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/94543>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/94543>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ